（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	

公表日　2026年2月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・人員基準を遵守し配置している	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・昼ミーティングと終礼で目標設定や振り返り等の情報共有を行っており、朝礼で日々確認を行っている	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケート結果を共有し改善に取り組んでいる ・保護者とのコミュニケーションを図り、関係構築に努めている	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	○		・職員会議や日々のミーティングで職員からの提案や気づきを全体で共有し、必要と判断したものは取り入れて実践している	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・外部評価は行っていないが、保護者目線でのアンケートを実施している	・必要があれば今後検討する
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修への参加を積極的に行い、他職員への横展開を実施している	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・昼ミーティングや終礼で児童の様子を共有しアセスメントを行っており、計画立案に反映している	・児童本人のニーズや意向をキャッチして反映していきたい
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	○		・支援に関わる各職員の多角的な視点を集約して原案を作成し、認識を統一した上で原案の確認・修正を行っている	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・保護者の同意が得られた計画は職員にフィードバックし、日々のミーティングでも計画に沿った支援となっているか確認を行っている	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・主にインフォーマルアセスメントを行っている	・客観的なフォーマルアセスメントを行うため標準化されたツールの導入を検討する
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・保護者の同意が得られた計画は職員にフィードバックし、日々のミーティングでも計画に沿った支援となっているか確認を行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼で支援内容を確認し、担当を明確化している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼で振り返りと情報共有、課題の整理を行っている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度または変化があった場合には適宜モニタリング会議を開催している	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・原則児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		・関係のある保健、医療、保育、教育との連携はしているものの体制整備までは至っていない ・検討していく
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて電話や対面で情報共有を行っている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修への積極的な参加を行っている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡ノートにその日の様子等を相互に記載している ・必要に応じ電話や連絡ツールを用いて情報共有を行っている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・個別に定期的な面談と随時相談の場を設けて行っている	・課題や対策を伝えるだけにとどまらず、伴走者として頼られる存在であり続けられるよう努める ・外部講師を招いての実施も検討中
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に内容の説明を行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・利用開始時や更新時、モニタリング時期に責任者が説明を行い理解と同意を得ている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談に対して適切に助言を行えるよう職員間での情報共有、意識統一を図っている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に利用者家族と職員が参加できるイベントを企画し、保護者間の連携が図れる場を設けている	・希望しない保護者もいるため、負担とならない間隔や内容で開催を継続する
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対面または電話等、保護者の希望や内容に合わせて速やかに対応している ・相談に対して適切に助言を行えるよう職員間での情報共有、意識統一を図っている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月間活動予定表を配信し、日々の活動の様子を写真や動画で保護者のみが閲覧・保存できるようにしている	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きロッカーで保管し、掲示物では特定できないように工夫している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・特性に合わせて視覚に訴えたり、時計を使って伝達している	・今後新たな特性を持った利用者が増えた際には都度意思疎通や情報伝達の方法を検討・追加していく
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・原則当日中に再訪問しカンファレンスを実施している	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きロッカーで保管し、掲示物では特定できないように工夫している	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・利用契約時に周知し、新たに策定したマニュアルは文書で周知を行っている	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・周知を行い研修・訓練を実施している	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・日々のミーティングですぐに共有し再発防止に取り組んでいる	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・委員会による社内研修や外部研修への積極的な参加によって職員の意識統一を図っている	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・利用契約時に丁寧に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載をしている	